

災害

は、いつしか、そして突然やってくる。自然現象の災害は、災害による被害は「日常の備え」により最小限に食い止めることができます。近年、雄武町においても台風による被害や津波警報の発令など、町民の防災意識が改めて問われてきています。災害が発生したとき一番大切なのは、自分の命を守るために迅速にその場から避難すること。雄武町では災害時における避難態勢を整備し、町民自らが防災意識を高めていく自主防災組織の育成に取り組んでいます。

町民の安全を大きく支えています。

まちを守る大きな役割を担っている消防団。非常時での出動や広報活動、訓練などに日々励んでいます。また、保育所園児による幼年消防クラブでは、避難訓練や消防士体験などを通して幼いころから火の大切さや正しい知識を学習し、将来における火災予防に生かす取り組みを行っています。

いざというときに備えることができます。

雄武町では防災のしおりと防災マップを作成し、全世帯に配布しています。災害時の対処方法や避難施設、防災マップには町内の標高が色分けして示されており、水害時における危険地域が一目で分かるようになっています。

津波などへの対策を強化しています。

地震による津波発生などの際、早期避難と被害を最小限に食い止めるため、防災行政無線を設置しています。非常時には町内30か所に取り付けられた無線設備から一斉に放送を行うことが可能。雄武町では津波を想定した総合防災訓練を実施し、防災体制の充実強化と防災意識を高めています。また、町内の主要施設などには海拔表示板を設置し、日頃から防災意識を高める取り組みを行っています。



海拔表示板

日頃の訓練が大切な人の命を守ります。

大切な人が目の前で倒れたら、あなたは何をしますか。救急車が来るまでの数分間は、命を救うために最も大切な時間といわれています。雄武町では、町民を対象にAEDを使用した救急講習会を定期的に開催。また、学校や主要施設にはAEDを設置し、緊急時における適切な処置が行えるよう体制を強化しています。



まちを守る消防団による消防演習。日頃の訓練の成果が発揮されます。

Disaster prevention Fire fighting

Life Style
05
消防・防災



消防雄武支署



防災マップと防災のしおり



幼年消防クラブ

放水体験や避難訓練などにより、幼いころから防火意識を高めています。



救急講習

人工呼吸や心臓マッサージなどの心肺蘇生法を学ぶことで、緊急時における適切な処置につながります。



火災救助訓練

消防では解体前の町有施設を利用し、本番さながらの火災救助訓練を実施しています。



着衣水泳教室

海や川などでの水の事故を防ぐため、着衣のままで自分の身を守る水泳教室を行っています。



防災行政無線（親局）

津波などの災害時には、役場内に設置したシステムから町内の海岸部を中心に一斉に放送することができます。

防災行政無線（子局）

約15メートルの高さに取り付けられたスピーカーからデジタル無線で一斉に放送されます。



雄武町
NO-25